

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	綿木 浩三
評価者	組織	薬事衛生課	職	課長	氏名	紺野 欽一

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年)	現状値		評価
					(年)	(年)	
施策1	危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグに係る検挙人員	人	0 (H27)	4 (H26)	4 (H27)	C

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	これまでの 有効性	今後の 方向性
					(年)	(年)						
施策1	危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグに係る検挙人員	人	0 (H27)	4 (H26)	4 (H27)	危険ドラッグ対策推進費	県民	1,680	1,657	B	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 危険ドラッグ対策推進費	事業開始年度	平成26年度	事業終了予定年度		作成者	組織	薬事衛生課
	根拠法令・計画等	石川県薬物の濫用の防止に関する条例			職・氏名	技師 徳田 貴裕	
					電話番号	076 - 225 - 1442 内線 4157	

事業の背景・目的

1 薬物審査会の開催
 石川県薬物の濫用の防止に関する条例に基づく「知事指定薬物」、「知事監視製品」の指定
 会長:早川 和一(金沢大学医薬保健研究域 教授)
 委員:北村 立(石川県立高松病院 院長)
 角田 雅彦(石川県こころの健康センター 所長)
 山本 啓二(金沢弁護士会(北都法律事務所) 弁護士)
 渡辺 和人(北陸大学薬学部生体環境薬学講座 教授)

2 危険ドラッグの分析
 知事指定薬物等の分析(保健環境センター)

3 危険ドラッグ相談ホットラインの運営
 危険ドラッグに関する相談や製造・販売についての通報先となる24時間対応の相談ホットライン

4 県民への普及・啓発
 ① 大学生や社会人を対象とした啓発活動の実施
 薬物乱用防止セミナーの開催((公社)石川県薬剤師会に委託)
 ② 広報いしかわなどでの啓発

施策・課題の状況						
施策	危険ドラッグ対策の推進				評価	B
課題	危険ドラッグ対策の推進					
	指標	危険ドラッグに係る検挙人員			単位	人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	0				4	4
事業費						
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算				3,000	1,680
	決算				2,635	1,657
一般財源	予算				3,000	1,680
	決算				2,635	1,657
	事業費累計				2,635	4,292
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	近年、危険ドラッグの使用に起因すると疑われる健康被害や事件等が社会問題となっており、危険ドラッグの乱用の広がりが憂慮されている。このような状況に対し県では、危険ドラッグの販売や使用を独自に規制する条例を制定した。また、早期の流通制限を図り健康被害の発生や重大な事故の予防を目的として、啓発セミナーの開催や広報活動、巡回パトロールを実施した。				
今後の必要性	継続	関係機関が連携して供給の遮断、需要の根絶の両面から総合的に薬物乱用防止に取り組んでいくとともに、広く県民に対し危険ドラッグ等の薬物乱用による弊害について周知徹底を図っていく必要がある。				